

「マイナポイント」で

「マイナポイント」スタート キャッシュレスで5,000ポイント還元

9月1日、「マイナポイント」事業がスタートしました。マイナンバーカードをキャッシュレス決済サービスと連携させることで、チャージまたは買い物に対して、25%の“プレミアム”が付与されます。上限は5,000円相当です。

ざっくりいいますと、2万円の買い物・チャージで5,000円相当のポイントがもらえるという政府のマイナンバーカードとキャッシュレス普及施策で、期間は9月1日から2021年3月までの7カ月の予定となっています。

マイナポイントの対象決済サービスとして選べるのは1人1サービスだけです。そのため、「プラス1,000円」など追加の“プレミアム”を付けて自社サービスの利用者獲得を狙う決済サービスも多数あります。

「お得」な制度ですが、利用のためにはいくつかのハードルがあります。「マイナンバーカードの取得」「マイナポイントを予約」「マイナポイントの申込み」といった手続きが必要です。今回はこれらについては割愛させていただきます。

当日以降の決済やチャージで、マイナポイントが付与されます。ポイント付与の時期やポイントの種類は決済サービスによって異なっており、即日に付与されるものもあれば翌月のものもあるようです。

なお、マイナンバーカードは家族一人一人に発行され、家族それぞれでマイナポイントを申込みできます。4人家族であれば、1人5,000円で合計2万円相当のポイント優遇が受けられる計算です。

マイナポイントに登録可能な決済サービスは多種あります。QRコード決済、クレジットカードも楽天カード、三井住友カードなどが参加しています。ただし、JCBなど参加を見送っているカード会社もあります。

総務省の発表では「マイナポイントの予約者数は400万人、申込者数は8月30日時点では377万人が申込み」とのことです。なお、マイナポイントの予算規模は2,478億円で、利用者は「4,000万人」を想定。現在のマイナンバーカードの発行者よりも多いため、すぐに枠が埋まってしまうということは無さそうです。

マイナンバーカードの発行には1カ月程度の時間がかかりますが、マイナポイントの実施期間は2021年3月までとなっています。マイナンバーカードを取得していない人も、まだ遅くないはずです。また、セブン銀行ATMでの申込み対応や、9月からのテレビCM本格化など、スタートにあわせた普及啓発活動も増えてきました。決済サービスの選択肢は出揃ったと思われるので、あせることはありませんがマイナポイント対応の準備を進めてはいかがでしょうか。